

第38回 日本伝統漆芸展

2021年1月30日(土)～2月22日(月) 会期中無休

開館時間 9:00～17:00 最終日は16:00閉館(入館は閉館の30分前まで)

会場 石川県輪島漆芸美術館

入館料 一般420円 高大学生210円 小中学生100円

(展示室4は工事のため閉室中)

(写真左から) 乾漆合子/清水康志 沈金箱「日和」/西 勝廣(特待者) 蒔絵六角箱「春めく」/大角裕二(鑑査委員)

主催 公益財団法人輪島漆芸美術館 公益社団法人日本工芸会

後援 文化庁 石川県 石川県教育委員会 輪島市 輪島漆器商工業協同組合 朝日新聞社
公益財団法人岡田茂吉美術文化財団 北國新聞社 NHK金沢放送局

「輪島あえの風冬まつり」協賛

数量限定! わんじまチロルチョコプレゼント 2月13日(土)・14日(日)

*要入館券 各日先着60名様にプレゼント

「鬼わんじまぬりえ展・メモリアルパネル展」 1月30日(土)～2月7日(日)

*入場無料

列品解説

1月31日(日) 大角裕二氏

2月 7日(日) 山岸一男氏

2月14日(日) 中野孝一氏

2月21日(日) 西 勝廣氏

【いずれも13:30から】 *要入館券



WAJIMA MUSEUM OF URUSHI ART
石川県輪島漆芸美術館

〒928-0063 石川県輪島市水守町四十苅11番地
TEL(0768)22-9788 FAX(0768)22-9789
<https://www.city.wajima.ishikawa.jp/art/>

第38回 日本伝統漆芸展

会 期 2021年1月30日(土)～2月22日(月)
会期中無休
開館時間 9:00～17:00
最終日は16:00閉館(入館は閉館の30分前まで)

日本を代表する工芸として、永い歴史をもつ漆芸。日本伝統漆芸展は日本伝統工芸展の漆芸部会展として、伝統の継承とその錬磨、現代への応用を目指して開かれています。第38回となる今回は、東京・輪島・高松・広島・熊本の5会場を巡回し、受賞作8点を含む入選作品全87点を展示いたします。

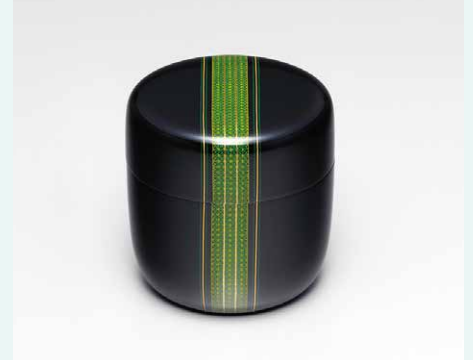
重鎮から新進まで漆工芸への飽くなき挑戦がうかがわれる本展覧会は、後継者育成に大きな貢献を果たしています。各地の伝統が育んだ地域性をも展望することができるまたとない機会です。磨き抜かれた技と美への探究を、どうぞ心ゆくまでご鑑賞ください。



鴛鴦沈金棗
前 史雄(重要無形文化財保持者)



網代菓子器
小森邦衛(重要無形文化財保持者)



漆象嵌棗「若緑」
山岸一男(重要無形文化財保持者)



あざみ文蒔絵箱
中野孝一(重要無形文化財保持者)



文部科学大臣賞
彫漆盛器「早春」／松原弘明



日本伝統漆芸展新人賞
乾漆螺鈿盛器「波光」／松本真奈

〔列品解説のご案内〕

会期中、下記出品者による展示作品の解説を行います。
いずれも13:30から *要入館券

- 1月31日(日) 大角裕二 氏(鑑査委員)
- 2月 7日(日) 山岸一男 氏(重要無形文化財保持者)
- 2月14日(日) 中野孝一 氏(重要無形文化財保持者、審査・鑑査委員)
- 2月21日(日) 西 勝廣 氏(特待者)

〔メモリアルパネル展〕

会期 1月30日(土)～2月7日(日) *入場無料
会場 当館講義室

輪島市内の小学6年生全員が卒業制作として、輪島沈金業組合の皆さんの指導のもと、漆塗りパネルに思いのデザインを沈金で表現しました。153名の力をぜひご覧ください。



WAJIMA MUSEUM OF URUSHI ART 石川県輪島漆芸美術館

〒928-0063 石川県輪島市水守町四十苅11番地
TEL 0768-22-9788 FAX 0768-22-9789
URL <https://www.city.wajima.ishikawa.jp/art/>

- 交通案内 飛行機:羽田空港—(約60分)—のと里山空港—(車=約20分)—漆芸美術館
車:金沢市内—(のと里山海道利用=約100分)—漆芸美術館
(自家用車・大型バス駐車場有(無料))
- バス:金沢駅—(北鉄奥能登バス輪島特急=約120分)—道の駅・輪島ふらつと訪夢「輪島駅前」下車
乗換え—(のらんげバス 海コース=約10分)—漆芸美術館下車
- 徒歩:道の駅・輪島ふらつと訪夢「輪島駅前」—(約15分)—漆芸美術館

次回展覧会案内
「第26回 飛翔する輪島の漆芸作家たち—全国展入選作品—」
3月9日(火)～5月10日(月)

